

# 主要な果樹対策について

(平成27年度補正予算・平成28年度予算概算決定)

平成28年1月

農林水産省



# 攻めの農林水産業への転換に向けた体質強化対策

## 国際競争力のある産地イノベーションの促進

### ○ 高性能な機械・施設の導入

#### ① 施設の整備

**H27補正**  
産地パワーアップ事業(整備事業)  
(3ページ)  
  
農畜産物輸出拡大施設整備事業  
(5ページ)

**H28当初**  
強い農業づくり交付金  
(9ページ)

#### ② 機械や資材の導入

**H27補正**  
産地パワーアップ事業(生産支援事業)  
(3ページ)

**整備できる施設の例**



- ・集出荷貯蔵施設
- ・選果施設
- ・農産物処理加工施設
- ・輸出対応型共同利用施設(CA貯蔵施設等)

**補助率等**  
1/2以内  
  
1/2以内

**整備できる施設の例**

- ・集出荷貯蔵施設
- ・選果施設
- ・農産物処理加工施設

**補助率等**  
1/2以内

**導入できる機械・資材の例**



- ・スピードスプレーヤー
- ・モノレール
- ・果樹棚
- ・屋根かけ栽培
- ・マルドリ方式に必要なマルチシートや灌水設備

**補助率等**  
1/2以内

### ○ 高収益作物・栽培体系への転換

#### ① 改植に対する支援

**H27補正**  
産地パワーアップ事業(生産支援事業)  
(3ページ)


**H28当初**  
果樹農業好循環形成総合対策事業  
(8ページ)

#### ② 新植に対する支援

**H28当初**  
果樹農業好循環形成総合対策事業  
(8ページ)

**支援内容**

- ・競争力のある品種の樹園地若返りのための植え替え(同一品種の改植)




競争力のある品種(例)  
[なから、ふじ、巨峰、佐藤錦、しらぬひ(デコポン)]

**補助率等**  
改 植: 23万円/10a(かんきつ類)  
17万円/10a(主要落葉果樹等)  
33万円/10a(りんごわい化栽培等)  
1/2以内(その他果樹)  
未収益: 22万円/10a

**支援内容**

- ・優良品目・品種への転換のための改植



優良品種(例)  
[なから、はるみ、シャインマスカット、ぼろたん、太秋]

**補助率等**  
改 植: 23万円/10a(かんきつ類)  
17万円/10a(主要落葉果樹等)  
33万円/10a(りんごわい化栽培等)  
1/2以内(その他果樹)  
未収益: 22万円/10a

**支援内容**

- ・需要の見込まれる品目・品種の導入、大規模園地整備を行った園地への植栽

**補助率等**  
新 植: 1/2以内  
未収益: 22万円/10a

## 高品質な我が国農林水産物の輸出等需要フロンティアの開拓

### ○ 青果物の輸出促進対策

H27補正

青果物輸出特別支援事業  
(6ページ)

支援内容

- ・輸出先国の植物検疫条件を満たすのに必要な殺菌処理機材の整備
- ・輸出先国の残留農薬基準に合致した防除暦の作成
- ・輸出先国における低温貯蔵・輸送技術の実証 等



補助率等

1/2以内等

H28当初

果樹農業好循環形成総合対策事業  
(8ページ)

支援内容

- ・輸出時の海上輸送のためのリーファーコンテナの利用や、鮮度保持技術・輸送用資材の開発実証



補助率等

1/2以内

### ○ 産地と外食・中食等が連携した新商品開発

H27補正

外食産業等と連携した需要拡大対策事業  
(7ページ)

支援内容

- ・産地と複数年契約する外食産業等が行う、国産青果物等を活用した新商品の開発や販路開拓等



補助率等

定額、1/2以内

## 果樹農業の好循環を生み出すための取組の推進

### ○ 果実の需給安定

H28当初

果樹農業好循環形成総合対策事業  
(8ページ)

支援内容

- ・計画生産・出荷、緊急的な需給調整対策、自然被害果実の流通対策の推進



補助率等

44円/kg(緊急的な需給調整対策)、  
1/2以内(その他)

### ○ 好循環のための産地の課題解決

H28当初

果樹農業好循環形成総合対策事業  
(8ページ)

支援内容

- ・荒廃園地の発生抑制に向けた園地パトロール
- ・ICT等の普及に向けた産地と異業種のマッチング
- ・全国ブランドの育成 等

補助率等

1/2以内

### ○ 加工流通対策

H28当初

果樹農業好循環形成総合対策事業  
(8ページ)

支援内容

- ・加工用果実の安定生産に資する作柄安定技術の導入
- ・ストレート果汁等向けの加工原料果実の選別・出荷に係る掛かり増し経費
- ・カットフルーツ等の需要拡大につながる商品開発 等
- ・新たな技術を導入した流通合理化等に係る実証



補助率等

定額(作柄安定技術)、  
30円/kg(選別・出荷に係る掛かり増し経費)、  
1/2以内等(その他)  
定額、1/3以内

### ○ 労働力の確保

H28当初

農業労働力最適活用支援総合対策事業  
(11ページ)

支援内容

- ・「労働力確保戦略センター」の立ち上げ、労働力の募集や産地への派遣、農業サービス事業者による農作業の外部化や援農隊による労働力の提供等

補助率等

1/2等

水田・畑作・野菜・果樹等について、平場・中山間地域など、地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、意欲のある農業者等が高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取組をすべての農作物を対象として総合的に支援。

## 事業内容

農作業の効率化によるコスト削減や高付加価値な作物へ転換しつつ、実需者のニーズに応じた生産を行うことで、収益力向上に一体的かつ計画的に取り組む産地において、生産体制の強化や集出荷機能の改善に向けた取組をソフト・ハードを一体的に支援。

## 支援内容

### (1) 支援の対象となる取組

- ① 高収益な作物・栽培体系への転換を図る取組に必要な機械や機器のリース導入に要する経費、施設整備に必要な経費、改植時に必要な経費、転換時に必要な資材導入等に要する経費等
- ② ①の取組の効果を増進するための取組(計画策定や技術実証に要する経費)

### (2) 支援対象者

地域農業再生協議会等が作成する「産地パワーアップ計画」に位置づけられている農業者、農業者団体 等

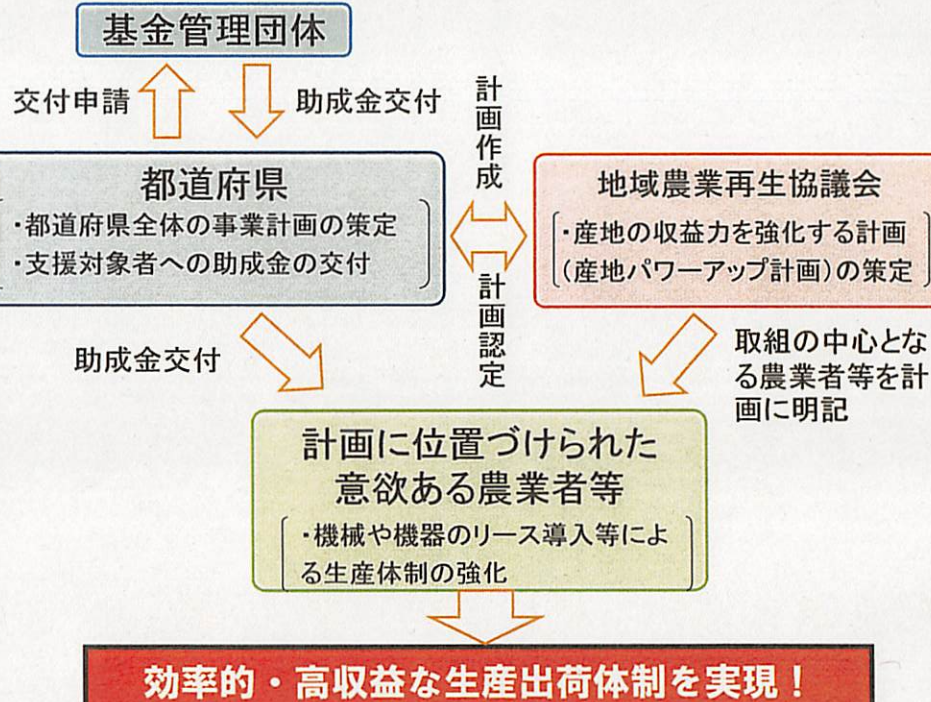
### (3) 補助率

施設整備は1/2以内、農業機械リース導入は本体価格の1/2以内 等

## 交付先

基金管理団体へ一括して交付します。

## 事業の流れ



### 【取組例】

- ・ICTを活用した高性能機械の導入による高効率な水田・畑作農業の取組
- ・競争力のある品種の改植や、新たな園芸団地の形成により、高収益作物・栽培体系への転換に取り組む事例



【GPS自動操舵システムの導入】



【競争力のある品種】  
(写真:ふじ、デコポン)



【トマト団地】

# 産地パワーアップ事業(園芸品目における活用のイメージ)

- 水田・畑作・野菜・果樹等について、平場・中山間地域など、地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、**意欲のある農業者等が高収益な作物・栽培体系に転換を図るための取組**を総合的に支援します。
- 例えば、園芸品目にあっては、以下のような取組に活用できます。
  - ・果樹の競争力のある品種(りんご「ふじ」等)の改植
  - ・園芸団地の育成を図るための機械・パイプハウス導入
  - ・加工果実の新たな需要に対応したストレート果汁等の生産整備
  - ・省エネ型で、高品質な花き生産団地の育成 等

## 果樹

### 【樹園地の若返り】

- ・競争力のある品種について、樹園地の若返りのため、植え替え(同一品種の改植)により、生産性を向上させる取組



競争力のある品種(例)

【左から、ふじ、巨峰、佐藤錦、しらぬひ(デコボン)】

### 【省力的・効率的な栽培体系の導入】

- ・農業の体質強化を図るため、省力化機械の導入等により、果樹栽培における省力化・効率化を推進する取組



モノレール

スピードスプレーヤー

## 野菜

### 【露地野菜団地の育成】

- ・機械化一貫体系の導入等による効率的な露地野菜団地の育成により、収益性の高い露地野菜産地を形成する取組



ホウレンソウ収穫機

キャベツ収穫機

## 花き

### 【花き生産団地の育成】

- ・パイプハウスを導入し、省エネ化や高品質化により、収益性の高い花き生産団地を形成する取組



温度・日照等の環境制御 ヒートポンプ

### 【高品質果実の生産体制の整備】

- ・高品質な果実の安定生産につながる資材等の導入により、新たな生産体制を整備する取組



屋根かけ栽培

マルドリ方式

### 【新たな需要の開拓】

- ・ストレート果汁など果実加工品の新たな需要に対応し、高付加価値化による収益力強化を図るための取組



果汁生産ライン

果汁ストレート搾汁機

### 【施設野菜団地の育成】

- ・パイプハウスや高度環境制御装置の導入等による施設野菜団地の育成により、収益性の高い施設野菜産地を形成する取組



パイプハウス

環境制御盤

### 【花き輸出拠点の整備】

- ・コールドチェーンを完備した拠点において、輸出先のニーズに合わせた切り花のパッキング(箱詰め)、消毒等を行う取組



差圧予冷施設

消毒用機械・装置

### 【効率的な施設整備の推進】

- ・集出荷貯蔵施設、農産物処理加工施設の整備を通じた集出荷機能の改善、高付加価値化による産地の収益力強化に向けた取組



集出荷貯蔵施設



選果施設



農産物処理加工施設



低コスト耐候性ハウス

「攻めの農林水産業」を実現するため、輸出の拡大や高品質・高付加価値化に資する生産から流通までの強い農業づくりに必要な共同利用施設や卸売市場施設の整備を支援します。

- ・補助対象 共同利用施設整備、卸売市場施設整備
- ・交付率 都道府県への交付率は定額(事業実施主体へは事業費の1/2以内等)
- ・事業実施主体 都道府県、市町村、農業者団体等

・事業の流れ:



## (施設例)

### HACCP対応食肉施設



米国、EU等は牛肉施設について HACCP対応を要求

### CA貯蔵施設



輸出先国の需要時期に合わせた供給を可能とする青果物の長期保存体制を構築

### コールドチェーン対応卸売市場施設

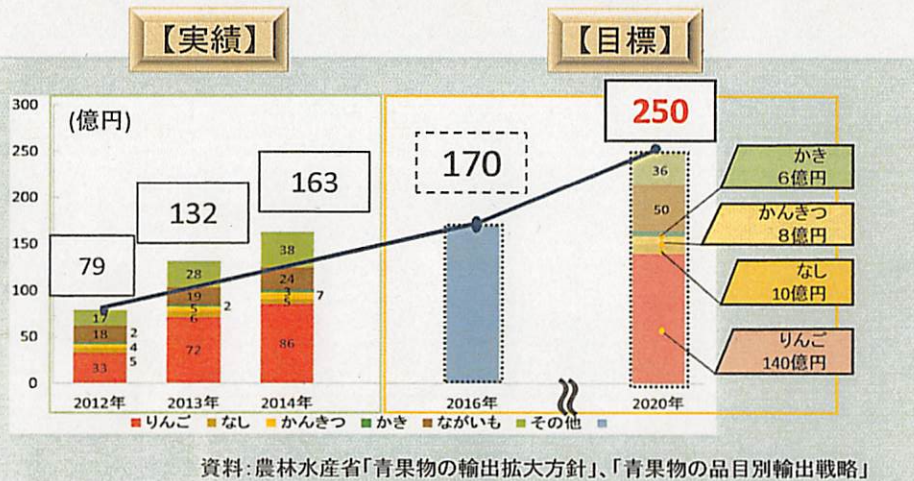


外気と遮断された温度管理可能な卸売市場施設とすることで、輸出先国までの一貫したコールドチェーンシステムの確保

# 青果物輸出特別支援事業

【平成27年度補正予算額:5億円】

- 「農林水産物・食品の国別・品目別輸出戦略」(平成25年8月)で設定された**青果物輸出目標250億円(平成32年)**の実現に向け、「**ジャパン・ブランド**」の確立を通じた輸出拡大の戦略的推進が重要。
- 青果物の輸出に当たっては、**輸出先国の植物検疫条件や残留農薬基準に合致させるための環境整備、国内産地から輸出先国の消費者に至るまでのコールドチェーンの確立等**を実施する必要。



## 課題

- 輸入時の植物検疫条件において、産地が通常行っていない内容(国内向けと異なる殺菌方法等)を求められる場合、これに対応するため、**新たな機材が必要なケース**がある。
- 植物検疫条件をクリアしても、輸入に際しては、相手国の食品衛生関係法令に基づき設定された**残留農薬基準に合致したものとする必要**があり、**通常の防除体系と異なる農薬散布等**が要求される。
- 東南アジア諸国では、出荷から小売までを低温で輸送・保存する「**コールドチェーン**」が進んでいない国が多く、輸出したとしても、海外の消費者に**日本産青果物の本当のおいしさを伝えられない**。
- 長距離輸送技術・鮮度保持技術が進む中、**遠距離の未開拓の市場への進出が可能**となってきているが、**現地のマーケットニーズや商慣行等のリスク**があり、**チャレンジするにはハードルが高い**。

## 取組

### 検疫条件への対応

- 植物検疫条件を満たすのに必要な機材の整備
  - ・ 米国向けりんご用みかんの表面殺菌機材の整備により、処理能力が飛躍的に向上し、**輸出量が大幅に拡大**



(上段:現状、下段:開発中の機材)

### 残留農薬基準への対応

- 相手国の残留農薬基準への対応に必要な防除歴(時期別・品目別に防除に用いる農薬の種類、回数等を定めたマニュアル)の作成
  - ・ 台湾向け青果物の防除歴の作成により、台湾の残留農薬基準に対応した**青果物の輸出を実現**
- 相手国で使われない農薬を使用する青果物について、輸出に当たり、当該国が行う残留農薬基準の設定や見直しに必要なデータ収集、資料の作成・提供
  - ・ 米国向け青果物に使用できる農薬が増えて**安定生産可能となり、安定輸出を実現**



### コールドチェーンの確立

- 輸出先国等におけるコールドチェーンの確立支援
  - ・ 青果物に適した低温流通体制を国内の空港・港湾から海外の消費者まで構築することにより、**ジャパン・ブランドの高品質な青果物を消費者に提供**



### 遠距離市場等の市場開拓

- フロンティア市場開拓支援
  - ・ 輸出実績のない**豪州向けぶどうやブルネイ向けりんごを試験的に輸出**
- 最新の輸送技術を用いた試験輸送支援
  - ・ EU等の遠距離市場向けに**先端鮮度保持技術等を活用した試験輸送を実施**



# 外食産業等と連携した需要拡大対策事業 【平成27年度補正予算額:36億円】

国産農林水産物の需要フロンティアの開拓を図るため、**産地と複数年契約を締結する民間企業**（外食・中食・加工業者）に対し、**国産農林水産物を活用した新商品の開発**やそれに必要な**技術開発等**を支援。

## 事業スキーム

事業実施主体：民間団体

<事業の主な内容>

生産者等と外食産業等の連携体制の構築等

事業実施者：民間企業等  
（外食・中食・加工業者）

<対象品目>

- ・農産物（青果物、茶、いも類、穀類、砂糖 等）
- ・畜産物（牛肉、豚肉、鶏肉、鶏卵、畜産副産物、牛乳乳製品）
- ・特用林産物（きのこ類、山菜 等）
- ・水産物

原材料の安定供給（複数年契約を締結）

<事業の主な内容>

- ・新商品の開発・試作
- ・新商品の開発等に必要な機械等の開発・改良
- ・新商品のプロモーション
- ・原料原産地表示の促進

産地（生産者、生産者団体等）

**輸入品に対する競争力を強化し、国産農林水産物の需要を拡大！**

## 国産農林水産物を活用した新商品開発の事例

産地直送や旬にこだわった国産果実を使った季節のパフェを提供



豆、小麦、砂糖、卵など原料を国産にこだわったどらやきを販売



歩留まりが良く、安全性の高い熟成肉を製造するための微生物の有用性の検証や熟成技術を開発



地元外食企業が開発したいけ料理を提供



小型のさんまを使った頭や骨まで食べられる干物を開発し販売





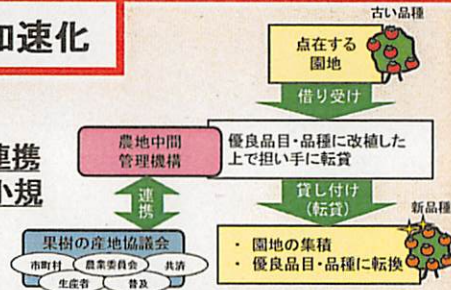
# 果樹農業好循環形成総合対策事業

【平成28年度予算概算決定額 56(55)億円】

果樹農業振興基本方針の方向性に即し、果樹農業の所得向上に向けた好循環を生み出すため、生産、流通、加工、販売、消費等の関係者の「連携」による一気通貫した取組を支援。

## 優良品目・品種への転換の加速化

- 産地の担い手による改植等を支援。
- 産地協議会と農地中間管理機構の連携を強化し、機構を活用した改植や小規模園地整備を推進。【新規】



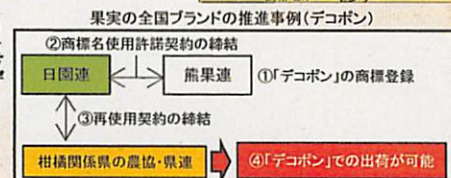
- 改植費用や栽培管理費の上昇を踏まえ支援単価を見直し。【拡充】

【改植】	22万円	→	23万円/10a	(みかん等のかんきつ類)
	16万円	→	17万円/10a	(りんご等の主要落葉果樹等)
	32万円	→	33万円/10a	(りんごわい化栽培等)
【未収益】	20万円	→	22万円/10a	(5.5万円×4年分)

- 品質確保が見込めない極早生みかん園地の廃園を推進。
- 需要の見込まれる品目・品種の導入や大規模基盤整備を行った園地における植栽を新植支援の対象に拡大。【拡充】

## 果実の需給安定や果樹農業の好循環のための優先課題の解決

- 計画生産・出荷、緊急的な需給調整対策、自然被害果実の流通対策を推進。この際、需給調整の補給金単価を見直し。(34円/kg → 44円/kg)
- 荒廃園地の発生抑制等に向けた園地パトロール等の産地の取組を支援。【新規】
- ICT等異分野の新技术の普及に向けた産地と異業種とのマッチングを支援。【新規】
- 果実の需要喚起に資するブランド力の向上に向けた、全国ブランド育成や機能性表示の活用等を支援。【新規】



## 加工流通対策の強化

- 加工用果実の安定生産に資する作柄安定技術の導入等の取組を支援。【新規】

省力化を図りつつ、一定の品質を確保した原料果実を生産し、果汁工場に安定供給

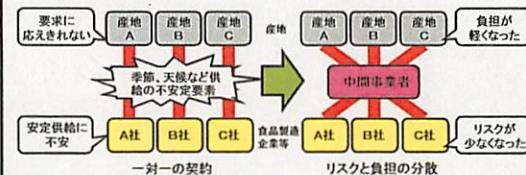


機械収穫前提の整園

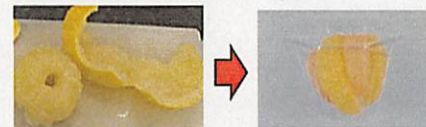


揺り落とし機械等の導入

- 中間事業者によるサプライチェーンの構築や需要拡大を推進。



- カットフルーツ等を含め新たな需要拡大につながる高品質化機械等の導入実証を支援。



酵素剥皮技術を利用したカットフルーツ

- 新需要に対応しつつ更なる需要拡大に資する商品開発や省力化栽培実証を支援。



不揃いなりんご 消費者ニーズの高いカットフルーツ向けに提供可能

- 海外への果実の海上輸送体制の確立に向けたリーファーコンテナの効率的な活用や、長時間輸送に適した鮮度保持技術・輸送用資材の開発・実証を支援。【新規】



冷凍冷蔵が可能なリーファーコンテナによる輸送



MA包装資材による長期鮮度保持技術(不知火)

# 強い農業づくり交付金

【平成28年度予算概算決定額：208(231)億円の内数】

園芸作物の安定供給体制を確保するため、園芸産地の収益力を向上させる取組や次世代施設園芸の地域展開に必要な共同利用施設の整備等を支援。

## 補助対象：

### 共同利用施設等整備

集出荷貯蔵施設、農産物処理加工施設、生産技術高度化施設(低コスト耐候性ハウス、高度環境制御栽培施設等)、小規模土地基盤整備、農作物被害防止施設等



集出荷貯蔵施設



農産物処理加工施設



生産技術高度化施設

## 交付率：

都道府県へは定額（事業実施主体へは事業費の1/2以内等）

## 事業実施主体：

都道府県、市町村、農業者の組織する団体、事業協同組合等

## 交付先：

国 ⇒ 都道府県

## 支援メニュー

### 1 産地収益力の強化

各品目の生産性向上等の取組や「強み」のある産地形成、次世代施設園芸の地域展開に必要な共同利用施設の整備を支援

### 2 産地合理化の促進

産地の集出荷、処理加工体制の合理化に必要な共同利用施設の再編等を支援

### 3 産地リスクの軽減

気象災害等産地を弱体化させるリスクの軽減に必要な共同利用施設(被害防止施設等)の整備を支援

## 優先枠の設定

### ① 「強み」のある産地形成に向けた体制整備【20億円】

新品種・新技術等の導入により、需要に対応した産地の形成に必要な施設の整備を支援

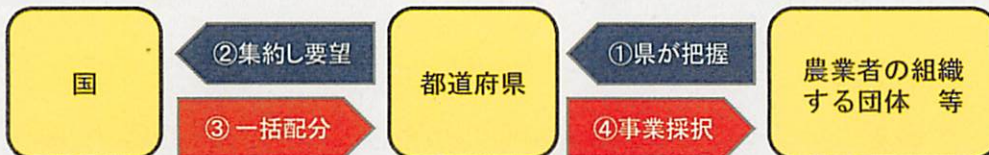
### ② 集出荷・加工の効率化に向けた再編合理化【20億円】

高収益な産地体制への転換を図るために、集出荷・処理加工施設等の再編合理化を支援

### ③ 次世代施設園芸の地域展開【15億円】

地域エネルギーと先端技術を活用した大規模な高度環境制御型栽培施設等の整備を支援

## 事業の流れ



# 新しい野菜産地づくりの推進(野菜関連対策)

【平成28年度予算概算決定額】

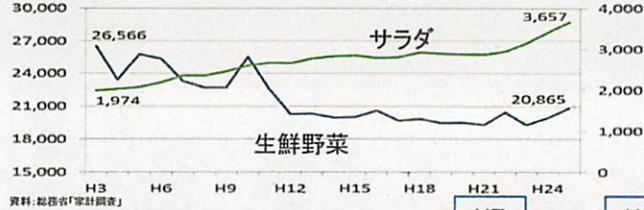
- (1) 新しい野菜産地づくり支援事業: 11(8)億円
- (2) 国産原材料供給力強化支援事業: 3(4)億円の内数
- 【関連対策】産地パワーアップ事業: 505億円

## 現状と課題

### 1. 加工・業務用野菜ニーズの高まりへの対応が必要

○ニーズへの対応

生鮮野菜とサラダの購入金額の推移 (単位:円)



新たな食料・農業・農村基本計画  
【生産努力目標】

H25 1,195万トン

H37 1,395万トン

200万トンの大幅増産

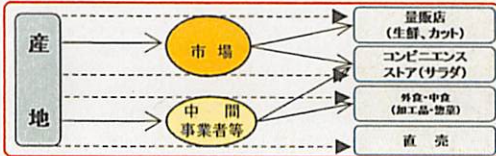
加工・業務用野菜の用途別国内消費率 約50% → 約60%  
加工・業務用野菜の国産原料比率 約90% → 約70%

### 2. 国産青果物の供給体制の構築が必要

○深刻なドライバー不足

	2020年度	2030年度
需要量	103万人	96万人
供給量	92万人	87万人
過不足	▲11万人	▲9万人

○多様化する用途・流通経路



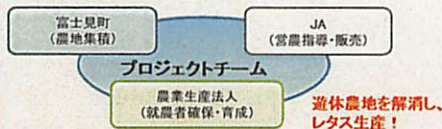
### 3. 大ロットでの安定生産・安定供給ニーズへの対応が必要

○多様な関係者によるニーズに対応できる野菜団地づくりを加速化!

先進産地の事例

レタス産地づくりと新規就農者の育成を両立!  
「富士見みらいプロジェクト」(長野県)

- 農業生産法人、富士見町、JAが連携
- 遊休農地等を町が主体で100ha集積
- 生産したレタスは、農業生産法人やJAの販路で流通・販売



地域資源エネルギーの活用、高度な環境制御技術を兼ね備えた次世代園芸拠点施設(全国10拠点)

- 地域資源によるエネルギー供給から生産
- 調製・出荷までを一気通貫して行う次世代施設園芸拠点において、コスト削減と地域雇用創出を図る

水田の有効活用!!  
野菜等の園芸メガ団地で振興!(秋田県)

- 水田を有効活用した、園芸との複合経営により所得増を目指す
- 県が園芸振興をリードし、大規模な園芸団地を積極的に整備
- 事業実施主体は、1億円以上の販売を目標



## 支援内容

### (1) 新しい野菜産地づくり支援事業

H28当初

#### ①加工・業務用野菜生産基盤強化事業

加工・業務用野菜への作付転換を推進するため、作柄安定技術を導入する場合に、当該経費の相当額の一部を定額面積払い

支援対象: 土壌・土層改良、マルチ・べたがけ等の資材の使用、病虫害防除資材の導入等  
対象品目: キャベツ、たまねぎ、にんじん、ねぎ、ほうれんそう、かぼちゃ、レタス、スイートコーン、えだまめ (下線は、平成28年度から追加)

#### ②国産青果物高度供給事業

新たな技術を導入したモーダルシフト等の流通合理化、高品質保持技術の導入によるバリューチェーンの構築等に係る実証を支援。

支援対象: 新規格の鉄コンテナによる鉄道、船舶輸送や、電源コンテナ等新たな技術を活用したパーフェクトコールドチェーンの実証等



### (2) 国産原材料供給力強化支援事業

加工・業務向けサプライチェーンの構築に向け、生産者・中間事業者・食品製造業者等による一体的な取組を支援。

支援対象: 加工・業務向け専用品種や機械の導入を支援等

#### 専用品種の導入(カローワン)

たまねぎ加工では、上下を切り落とすため、縦長品種の方がロスが少ない。



#### キャベツ自動収穫機

収穫を手作業から機械化することにより大幅な省力化・軽労化を実現。



### 【関連対策】産地パワーアップ事業

H27補正

地域一丸となって収益力強化に計画的に取り組む産地に対し、農業機械のリース導入やハウスの導入、集出荷施設の整備等を総合的に支援します。

#### 【園芸品目における活用イメージ】

生産者	中間事業者	行政	実需者	【共通】
<b>1. 露地野菜団地育成</b> ①農業機械のリース導入 ②育苗ハウスの導入等		ほうれんそう収穫機 レタス2条挿苗機		集出荷貯蔵施設
<b>2. 施設野菜団地育成</b> ①パイプハウスの導入 ②高度環境制御装置の導入等		パイプハウス 環境制御盤		農産物処理加工施設

新野菜産地づくりに向けた総合的な取組を実施

- 農業就業者の減少や高齢化等により労働力不足が進行する中、年間を通じた作業量が平準化していない農業生産において、農地集積や大規模化等を進めていくためには限られた労働力を最適に活用することが必要。
- 全国段階では、今後のシステム展開に必要な全国共通課題等の検討や、各産地の取組の情報収集・提供のほか、産地間の労働力融通を実施。
- 産地段階では、生産者団体や市町村等の関係者が構成員となって「労働力確保戦略センター」を立ち上げ、労働力の募集や産地への派遣、農業サービス事業者による農作業の外部化や援農隊による労働力の提供など、産地の発意と自主性に基づいた、戦略的・実践的に労働力を確保・活用する取組を実施。

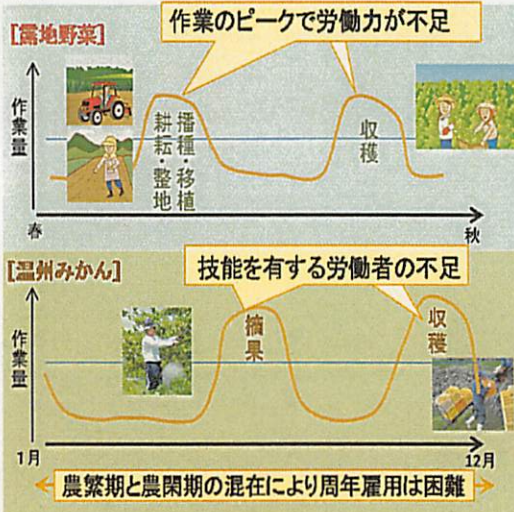
〔労働力確保の現状〕

農業就業者の減少や高齢化等による労働力不足の進行



農業の特徴：年間を通じた作業量が平準化していない

(例)



農地集積・大規模化への対応に限界

〔事業概要〕

労働力確保最適活用システム協議会

※事業実施主体は全国団体等を想定

- ◎ 全国的課題の検討、各産地からの情報収集・提供等を実施
- ・今後の農業労働力最適化システム展開への検討として、**労働力確保・最適化に必要とされる全国共通課題(作業者の技能認定方法、労働法規上の対応)等について検討**を実施
- ・各産地の「労働力確保戦略センター」から、労働力の需要と供給について**情報を収集・集約し、産地に情報提供**するとともに、産地からの要請に応じて**産地間の労働力融通**を実施



【全国段階】

【産地段階】

労働力確保戦略センター  
(産地単位で設置)

- ◎ 主要産地単位で戦略的・実践的に労働力を確保・活用するための組織を設置
- ◎ 労働力の募集・育成、産地の要請に応じた人材の調整、労働負荷軽減のための環境整備等を実施

【構成員】

生産者団体、市町村、農業者、農業公社、農業サービス事業者、県普及指導センター等

多種多様な人材



- サービス事業者への雇用希望者
- 県内都市のお手伝いワーカー
- 農業に興味のある者
- 異業種分野など

1. 労働力の募集・育成

(1) 人材の募集

人材募集のイベントの開催や出展、求人連絡等



(2) 人材の育成

確保した人材を対象とした、研修活動等



2. 人材の調整

産地の要請の把握・整理、労働力派遣  
農業サービス事業者・援農隊への情報提供・指導



3. 労働負荷軽減のための環境整備

労働負荷を軽減する機械等の共同利用(アシストスーツ、位置情報基地局、野菜収穫機等)



産地からの要請に応じた労働力提供

産地

- 畑作
- 水田作
- 果樹・野菜
- 施設園芸

援農隊

・農業未経験者を含む幅広い人材から援農隊を組織化